

2 自然と人がふれあう水辺 【鹿園寺灘付近～五右衛門川】

キーワード：自然とのふれあい
砂浜やヨシ帯が再生された湖岸は、鳥をはじめとする生き物たちのえさ場、休息場を提供し、魚介類の産卵場にもなっている。背後に広がる農地とともに、多くの生き物たちが集う生態系豊かな貴重な空間となっている。
広大な農地と点在する築地松のある民家が簸川平野特有の景観を形成している。
浅く穏やかな水辺では、安心して水辺に入り、自然とふれあえる場となっており、環境学習の場としても利用されている。
自然にふれあうことができる水辺として位置づけ、砂浜やヨシ帯の再生、水辺環境の保全に取り組んでいくとともに、さらなる利用促進を図っていく。

1 移りゆく景色を楽しむ水辺 【松江しんじ湖温泉入り口～鹿園寺灘付近】

キーワード：山の起伏、移り変わり
自然豊かな西岸から、松江市街地をつなぐ架け橋であり、集落、田園、山地が陰影を作り、自然から都市への移り変わりを演出する。迫り来る山並み、広がる田園、点在する集落をきらめく湖面が彩る風景。起伏に富んだ道路が様々な水辺の表情を演出する。
秋鹿なぎさ公園などの点在する親水空間では、ゆっくりと心ゆくまで水辺に触れることができる。
湖岸と道路の間の限られた空間をヨシなどで植栽し、宍道湖の水辺景観を印象づけ、サイクリングを楽しむ人々が、移動の合間にちょっと立ち止まりたいような魅力的な水辺を創造する。
また、宍道湖西岸・南岸からの眺めに配慮し、背後の緩やかな山並みと調和した水辺とする。

7 歴史を刻む暮らしの水辺 【宍道湖大橋～くにびき大橋】

キーワード：時代の変遷、水の都
城下町として、過去から人の暮らしの中心として、時代とともに発展してきた水辺。松江城や堀川といった歴史的建造物や、現代の商業施設に至るまで、様々な時代を想わせる建物や住宅などからなる市街地。
都市の中を貫流する大橋川の中で、最も都市的な景観を持つ場所でありながら、城下町の風情も残す。朝霧の中でのシジミ漁、朝日、夕日、夜景、柳並木と一体となった水辺となっており、松江城、堀川と遊覧船、遠くに望む大山とともに、松江観光の中心である。

8 緑と碧が広がる水辺 【くにびき大橋～多賀神社付近】

キーワード：水郷
くにびき大橋より下流の田園地帯は、都市の中でありながら、空間の広がりを感じさせる区間。
大橋川や剣先川、朝酌川といった河川、中州に広がる田園と水路網など、まとまった緑と碧の水郷のイメージを醸し出す。
多賀神社前付近で5つの河川が合流するまでの空間からは、のどかな田園風景の向こうに都市の景観が眺望できる。

9 古の流れを感じる水辺 【多賀神社付近～大橋川河口】

キーワード：悠久の流れ
河岸と河川内には、多賀神社、矢田の渡し、塩楯島には手間天神社があり、近傍には石屋古墳があるなど大橋川沿いのこの水辺は出雲国風土記にも記されているほど歴史が古い。
昔の人々の暮らしの情景を彷彿させる古の流れを感じる水辺。

3 宍道湖の香り漂う誘いの水辺 【五右衛門川～宍道中学校付近】

キーワード：玄関口
国道9号と国道54号の交差点に位置し、出雲空港や山陰道宍道インターを有する交通の要衝となっている。
空から、また、広島や島根県西部から訪れる人々が宍道湖に初めて接する場所である。
宍道湖への西の玄関口として位置づけ、砂浜やヨシ帯を再生し、宍道湖の水辺景観を印象づけるとともに、水辺にふれあえる場としてにぎわいを創出するなど、訪れた人が宍道湖に対する期待で胸をふくらませ、湖岸に寄ってみたいくなるような気持ちにさせる水辺とする。

4 車窓より自然と人の営みを楽しむ水辺 【宍道中学校付近～鳥ヶ崎付近】

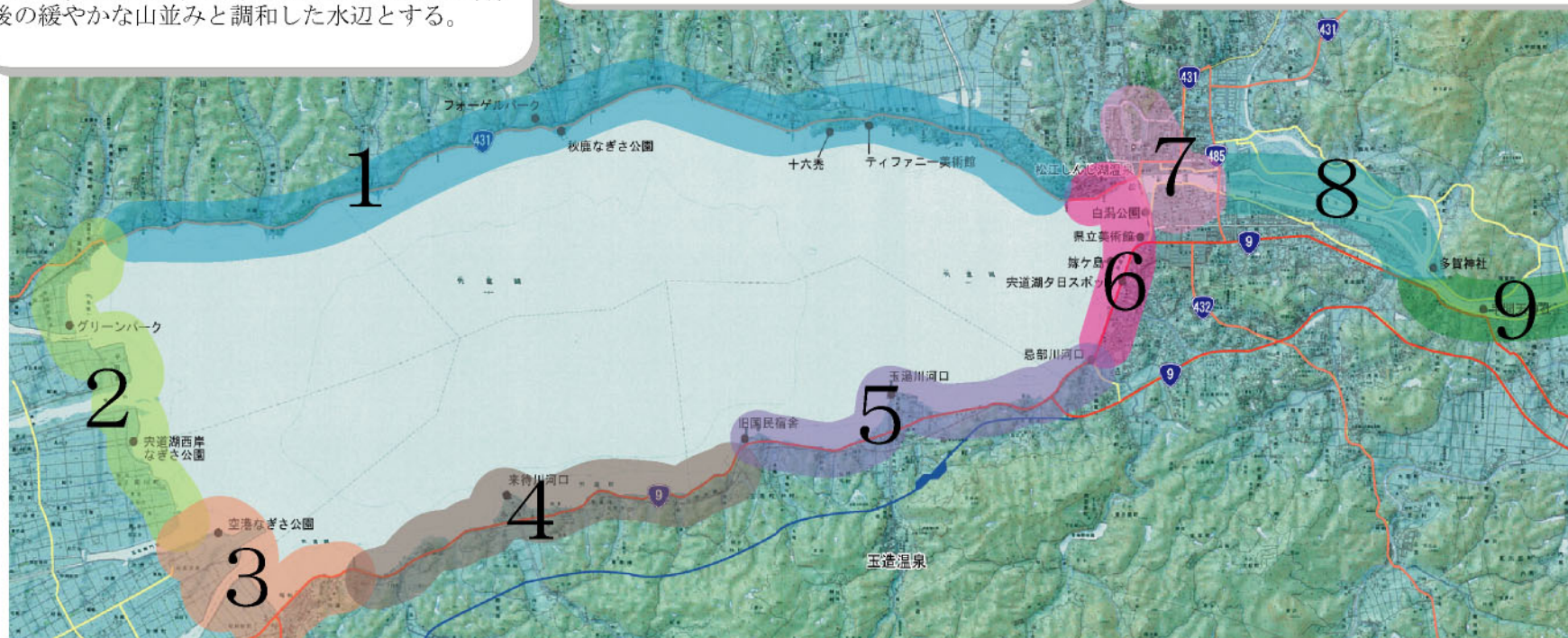
キーワード：生活、車窓
湖岸と道路の間に存在する空間は商工業的な利用がされ、湖岸に近づける空間が少ない。建物等の合間からのぞく湖面や、国道9号が湖岸沿いを走るところでは、砂浜やヨシ帯、水鳥や湖面など宍道湖の景観を楽しめる。また、舟だまりやシジミ漁等、人の営みを感じる空間が続いている。
地域に住む人々にとっては生活の中の潤いのある水辺、移動する人々にとっては時折見える宍道湖の景観を楽しむ水辺として魅力を高めていく。

5 旅情を深める趣ある水辺 【鳥ヶ崎付近～忌部川河口】

キーワード：旅情、いやし
年間約70万人の観光客が訪れる玉造温泉を抱える区間である。松江の市街地からほど近い場所にあり、宍道湖越しに松江の街並みが見渡せる。玉造温泉に近い玉湯川河口と鳥ヶ先には、宍道湖の水辺に触れ、宍道湖の様々な風景を楽しむことができるまとまった空間が存在する。玉造温泉の宿泊客が、宍道湖の夕日、松江の夜景、朝のシジミ漁といった風景を眺めて旅情を深める。また、周辺に住む人々が、都会の喧噪から離れ、宍道湖の水辺で安らぐことができる。宍道湖の豊かな自然と景観を保全しつつ、観光客、地域住民が憩い、水に親しむことができる水辺とする。

6 宍道湖の夕日を愛でる水辺 【忌部川河口～松江しんじ湖温泉】

キーワード：夕日
小泉八雲をはじめに、多くの文豪が愛した宍道湖の夕日。この夕日を最も美しく望める場所がこの区間である。
連続した水辺の親水空間は、末次公園、白湯公園、県立美術館前、夕日スポットと続く、都市の中の憩いの水辺として整備され、広く利用されている。
朝霧や夜景、夏の花火に秋のハゼ釣りなど、時刻・四季折々に様々な表情を見せるこの水辺は、市民のみならず、国際文化観光都市松江を訪れる観光客をも魅了して止まない。観光地としての魅力をますます高めるなど観光利用を意識するとともに、散策や夕日を見て明日への活力を充電するなど各人が思い思いの時間が過ごせる、街の中のオアシス的な水辺とする。



1 移りゆく景色を楽しむ水辺
【松江しんじ湖温泉入り口～鹿園寺灘付近】



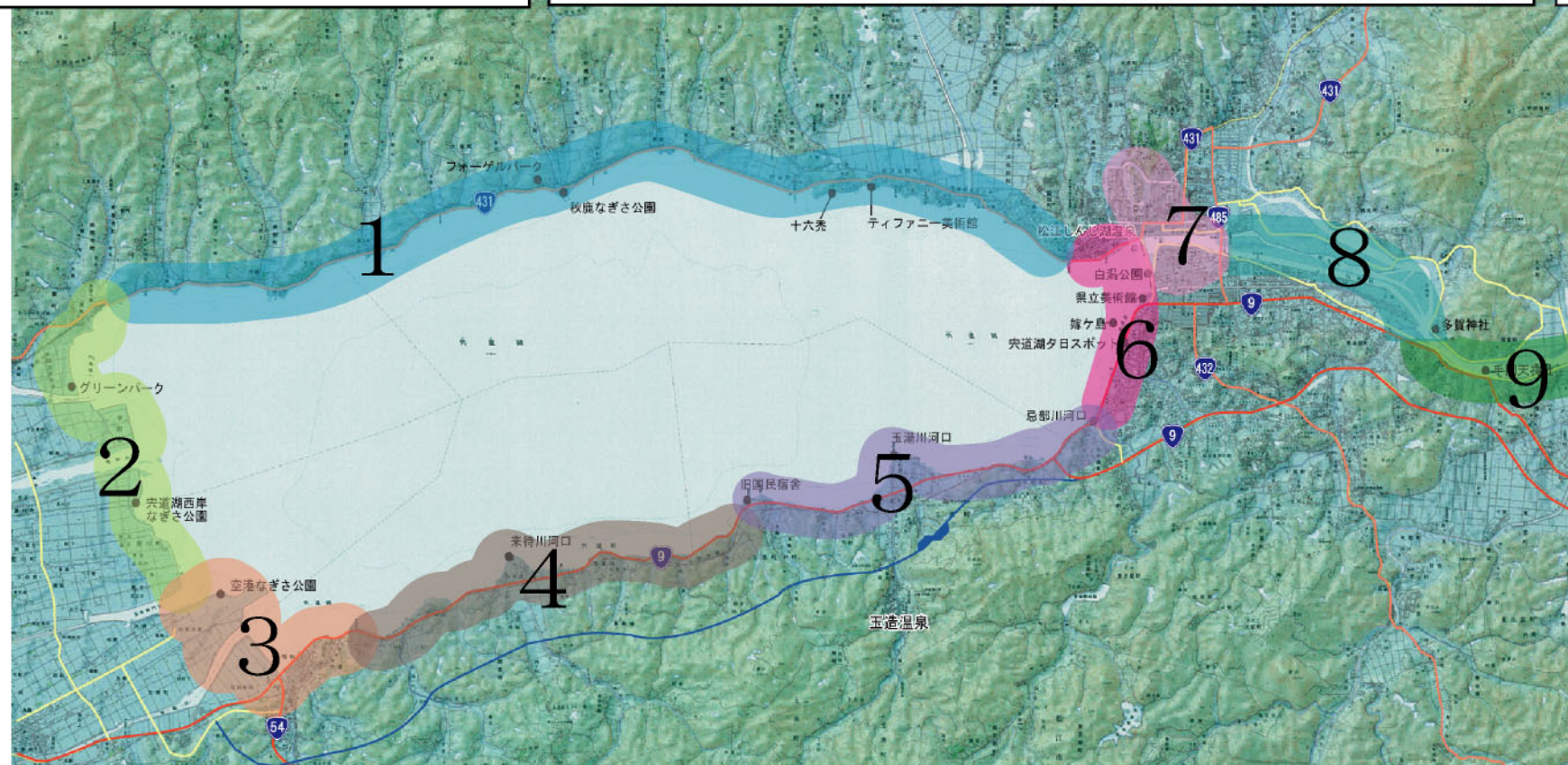
7 歴史を刻む暮らしの水辺
【宍道湖大橋～くにびき大橋】



8 緑と碧が広がる水辺
【くにびき大橋～多賀神社付近】



2 自然と人がふれあう水辺
【鹿園寺灘付近～五右衛門川】



9 古の流れを感じる水辺
【多賀神社付近～大橋川河口】



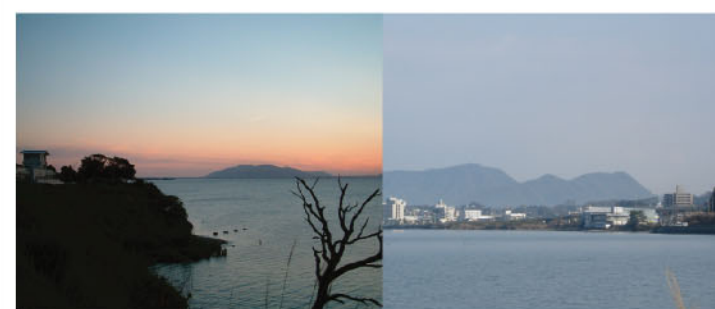
3 宍道湖香り漂う誘いの水辺
【五右衛門川～宍道中学校付近】



4 車窓より自然と人の営みを楽しむ水辺
【宍道中学校付近～鳥ヶ崎付近】



5 旅情を深める趣ある水辺
【鳥ヶ崎付近～忌部川河口】



6 宍道湖の夕日を愛でる水辺
【忌部川河口～松江しんじ湖温泉】

